

日本政策投資銀行から3年連続「BCM格付」の最高ランクを取得



「DBJ BCM格付」認定証



左：高橋常務執行役員（日本政策投資銀行） 右：関谷代表取締役社長（当社）

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」という。）が実施する「DBJ BCM格付」において、昨年、一昨年に引き続き、3年連続で最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ BCM格付」は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

今般、5年ぶりに、企業の危機管理経営力の高度化、事業継続上の様々なリスクへの包括的な対処を目的とした大幅な改訂が行われ、改訂後、当社が初の格付取得となりました。

今回の審査では、

- （1）京浜トラックターミナルに建設予定の高機能型物流施設「ダイナベース」をはじめ、物流施設の免震化を順次進めると共に、全ターミナル拠点において72時間の継続運転が可能となる非常用発電設備を設置し、有事の際の安全確保と速やかな機能復旧に向けたハード面の対策を万全に講じている点
- （2）各種訓練の定期的な実施に加え、当該訓練に対する評価・講評を通じて避難や現地復旧に向けた実践的な課題を浮き彫りにし、更には携帯役割カードの作成等による現場での災害対応の実効性を高める工夫の積み重ねや備蓄品・マニュアル等の見直しを行うことで、運用面に関する不断の改善を図っている点
- （3）重要業務である広域輸送基地の対応業務に関し、東京都および一般社団法人全国物流ネットワーク協会との間で共通の指揮命令システムを整備し、役割分担等を予め明確化するとともに、拠点毎に緊急支援物資輸送の訓練を実施している点

等の取り組みが評価され、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を3年連続で取得しました。

当社は、今後も引き続き防災および事業継続の取り組みを積極的に進め、「災害に強いトラックターミナル」を構築してまいります。

※日本政策投資銀行のニュースリリース